



横瀬町議会だより

No.104 2014.10.15 発行



紹介します！ 町の団体⑨ アスガキボウ 委員会



芦ヶ久保地区の活性化を目指し、景観整備（モミジの植栽・管理）、栗・きびの栽培体験、交流事業ふれあいまつり開催等の活動を行っています。

平成26年

9月定例会

平成25年度決算認定

町のお金の使い方をチェック！

P.2

一般質問

「町の考えは？」

観光事業・分収契約・寺坂棚田
人工芝生化・AED・人口減少 6名の議員が登場

P.5

東奔西走！ 議会活動

「先進地はどうしてる？」

町内外3カ所を視察しました

P.8



今号の
ここに注目！

2～3ページは平成25年度決算について、認定までの審議経過（質疑・討論）を掲載。議会はどこに注目したのか……。『広報よこぜ10月号』には詳細な決算報告が掲載されています。

26年度の補正予算でも活発な議論を展開。盛りだくさんの4ページ以降もぜひご覧ください。

下横瀬橋拡幅補強工事
河川の水量が少ない冬季に
歩道を新設します



ブコーさん観光案内所
今年度は新たにレンタサイ
クル事業も始めました

平成 25 年度一般会計

入ったお金 (歳入)

自主財源 46.4%	町 税	1,150,642
	繰 越 金	242,974
	繰 入 金	14,321
	そ の 他	189,242
依存財源 53.6%	地方交付税	936,857
	国庫支出金	333,232
	県 支 出 金	233,383
	町 債	204,142
	そ の 他	134,829
合 計		3,439,622

使ったお金 (歳出)

民 生 費	774,563
総 務 費	710,074
土 木 費	382,181
教 育 費	372,194
公 債 費	305,055
衛 生 費	240,967
消 防 費	182,525
農 林 水 産 業 費	92,798
商 工 費	78,195
議 会 費	65,467
合 計	3,204,019

(単位：千円)

平成 26 年 9 月定例会
(9 月 10 日・11 日)

平成 25 年度

町民1人あたりに
使ったお金は……

36 万 1,507 円

※平成 26 年 3 月 31 日現在の
人口 (8,863 人) で計算

何にいくら使われたの
でしょうか？

使い方をチェック

計画推進などに (総務費)

80,117 円

福祉等の充実に (民生費)

87,393 円

※円未満は四捨五入してあります。

議会はここに注目、
町に聞きました！

「町の財政健全度は？」「25年度の町の収支は？」議会では決算書を精査し、本会議にて質疑を行いました。一部をご紹介します。

一般会計について

問 町営住宅の空き家率が50%となっている。借地料は毎年定額の経費となっており、負担率が大きくなっている。老朽化した棟から解体し、一部でも返していけないか。

答 町営住宅の土地は、複数の地主さんに協力をいただいています。部分的に返還するのは難しい状況ですが、よりよい方法で対応できるよう検討を重ねていきます。

問 国・県からの緊急雇用創出事業の補助金が、平成21年から合計で3億4000万円ほどになっている。当初の事業は理解するが、近頃の事業の効果が現れてこない。雇用者が継続できる事業となっているか。

この補助金の活用には、全庁的

な取り組みが必要ではないか。

答 雇用対策として、失業者の再雇用のために使っています。次の仕事に向かうことが目的です。一部を基金にし、平成26年度に使います。

問 地域公共交通アクションプラン作成で分かったことは何か。去年7月のみの乗客数で1年を換算しているが、棚田まつりで増加した数値が入っている。1人当たり1900円となっているが、利用者数の数値は適正とは思えない。また、日曜日の利用が少ない結果なので、運行を考えたらどうか。

答 交通難民の解消等もでき、利用者も徐々に増えており喜ばれています。

高齢者などの移動制約者が、買い物や病院等への足を確保するものとして活躍しており、日曜日等

新設された中井浄水場

新浄水場建設により、姥神地区、赤谷地区にも町の水道が給水されます



決算
認定

平成25年度

町のお金の



以上の経過を経て、議会は平成25年度
各会計決算を全員賛成で認定しました

町田勇佐久議員【賛成討論】

安倍政権の発足でデフレが改善されつつある中、横瀬町では「第5次総合振興計画」4年目の年度に当たり、町民と行政の「協働のまちづくり」が推進されてきた。平成25年度の決算状況を見ると、一般会計においては、歳入歳出とも前年度決算額を下回り、少ない財源を有効適切に活用していると思う。また地方交付税、国庫支出金等においては、前年

度を若干上回っている。特別会計においては、水道事業会計を除く国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・下水道特別会計とも、安定した成果をおさめている。財源が大変厳しい中にもかかわらず、一般会計・特別会計とも、総じて立派に運営されていると評価し、賛成討論とする。

は家族との交流を考え、運行しています。
問 町民会館管理運営事業でLED化したにもかかわらず、電気料が減っていないようだが。
答 省エネ効果は電気料金の値上げにより相殺されており、図書館・事務室の開館日を増やしたため金額は変わりませんでした。
問 町所有の車で、購入したものと、リースで使用している場合が

あると思うが、これは財産に含まれるのか。
答 リースのもの2台は、財産管理には含まれていません。
問 人件費全体で職員の定員適正化はどうか。
答 権限移譲等により、職員の事務量が增大する中で、産休・育休を臨時職員等に対応しています。定員適正化計画は、今年度見直しの予定です。

平成26年度一般会計ほか6会計補正予算を可決

● 一般会計 1億9774万円を増額
歳出の主な補正要因

増額：地域人づくり事業（観光人材育成業務委託料）・（森林活用人材育成業務委託料）

町民グラウンド管理運営事業（町民グラウンド人工芝新設工事）

減額：防災安全対策事業（防災安全対策工事）

● 国民健康保険特別会計 5672万円を増額

● 介護保険特別会計 2779万円を増額

● 後期高齢者医療特別会計 39万円を増額

大野伸恵議員【反対討論】

芝生化事業は、芝生化推進会議等の要望とのことだが、団体の概要も不明で要望書もない。議会に説明なしで申請を行い、交付金内定が優先され、議会の議決権が軽視されている。補助金も8割の交付から5・6割に減っている。町支出金は2200万円から3950万円と増額で起債（借金）である。地区説明会の質疑の時間については町三役は不在だった。もと住民の声を聞き、身近な事業を望む。町民グラウンド人工芝新設事業のみ反対する。

新井鼓次郎議員【賛成討論】

一般会計の9月補正額は、各種の交付額決定に伴うもの。その他教育費・商工費に多額の補正があるが、財源はスポーツ振興くじ助成金・県補助金で賄われており、適正と判断できる。町民グラウンド整備事業は6月定例会で人工芝生化の設計予算が承認され、必要な予算措置。地元説明会や視察も実施し、要望や技術的知見なども盛り込まれており、良好。職員の時間外手当のさらなる管理徹底を要望し、賛成する。

● 下水道特別会計 63万円を増額

● 浄化槽設置管理事業特別会計 33万円を増額

● 水道事業会計（それぞれ増額）

収益的収支 1169万円

資本的支出 946万円

問 職員の時間外勤務手当が大幅に増額されているが（職員の定員管理・人事配置及び健康管理について）。

答 検討していきます。



知ってください！ 議会活動

毎年恒例！ 給食試食編



よこぜの子どもたちの健康をつくる給食。横瀬町議会では、8回目となる「給食試食会」を実施しました。今回のメニューは25年度人気第1位のココア揚げパン。埼玉県産米粉50%使用のパンはもちもちとした食感で甘いココアがまぶしてあり、たいへんおいしく人気の理由が分かりました。これからも安全でおいしい給食をお願いします。



エネルギー 838kcal タンパク質 29.7g

平成26年9月定例会 議案と審議結果

平成25年度 各会計決算を認定しました

一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・下水道特別会計・水道事業会計

以上すべて **全員賛成 認定**

人事案件

横瀬町教育委員の任命について

（高野修行氏を再任） **全員賛成 同意**

平成26年度 各会計予算を補正しました

一般会計（3回目）

全員賛成 可決

国民健康保険特別会計（1回目）・介護保険特別会計（1回目）・後期高齢者医療特別会計（1回目）・下水道特別会計（1回目）・浄化槽設置管理事業特別会計（1回目）・水道事業会計（1回目）

以上すべて **全員賛成 可決**

条例を制定・一部改正しました

横瀬町保育の必要性の認定に関する条例

横瀬町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

横瀬町税条例等の一部を改正する条例

横瀬町重度心身障害者医療費支給に関する条例及び横瀬町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
横瀬町指定地域密着型サービス事業者の指定に関する事項並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

以上すべて **全員賛成 可決**

議員提出議案

「手話言語法」制定を求める意見書について

全員賛成 可決

報告を受けました

横瀬町の健全化判断比率及び資金不足比率について

一般質問 町政を問う



わかばやしそいいちろう
若林想一郎議員が聞く！

人口減少社会への対応と 観光事業の振興について

問 民間有識者会議「日本創生会議」は、2040年（26年後）に全国の半数に当たる896市区町村が消滅すると発表。これに秩父郡市は全て該当し、飯能市を初め県内21市町村も含まれている。今までは、人口増を前提とした施策の展開が図られてきたが、これからは人口減を前提とした社会につくりかえる大きな転換を迫られている。農業用排水路の整備と維持管理について（草刈り・側溝の泥上げ等の対応について）。

答 振興課長…検討しています。

問 行政区の再編について（皆野町は、平成19年に59区を1区100戸単位として27区に再編しているが）。

答 総務課長…今後、再編が具体的な話題となったときには、区長会において協議・調整しながら、

がら、町と住民が一体となって進めていくことが必要と考へます。

問 空き家対策について（全国的に7軒に1軒が空き家になっているが）。

答 まち経営課長…ちちぶ空き家バンクを活用しています。

問 武甲山登山口（生川）へのトイレ設置について（年間2万7000人の日帰り登山者のために、観光案内板・指導標の管理及び整備について（既にかんりの部分に変化があり、総合福祉センターの案内板がない等）、及び民泊の推進について）。

答 振興課長…トイレの設置については、場所・処理方法・設置費及び維持費等を慎重に検討していきます。観光案内板等については、随時修正をしています。民泊については、おもてなし観光公社と連携し、引き続き推進していきます。



あかいわもりお
赤岩森夫議員が聞く！

町有林分収契約について

問 字枇杷ノ沢・字小島の分収契約について、芦ヶ久保地域・根古屋地域の一部を対象とした分収契約の内容は。

答 まち経営課長…収益を目的とした分収契約は、字枇杷ノ沢の契約者10区画延べ人数169名、字小島の契約者1区画8名が分収契約を結んでいます。分収契約の内容は、区画によって異なっています。平成27年3月31日が契約期限となっています。

問 契約期限を迎え、国土の保全・水源の確保・地球環境の維持のため「百年の森」として町が管理していく考えは。

答 まち経営課長…契約者と話し合いながら、資源でもありますので、検討していきたいと思っています。

問 副町長…さまざまな現状を考慮し、折り合いがつけば

話し合いを進めていきます。

問 旧芦ヶ久保小学校の施設について、各施設の利用状況と今後利用拡大の見通しは。また、収支は。

答 まち経営課長…利用状況は、25年度92日間、今後利用拡大が見込まれています。収入、貸出代71万6324円、支出257万4527円となっています。

問 各施設の老朽化、またプールの今後の利用は。

答 まち経営課長…体育館については、危険を喚起しながら貸し出しています。今後の利用については、地域と話し合いながら進めていきます。



一般質問とは、議員が政策提言も含めて町政全般について質問するものです。質問したい議員は、事前に「こういう質問をします」ということを示した「通告書」を提出しておかなければなりません。なお、横瀬町の本会議一般質問の持ち時間は、原則1人1時間以内です。

「6名の議員が町に考えを聞きました」



一般質問の記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています。全文は、図書館に設置されている会議録のほか、町ホームページからもご覧いただけます。「横瀬町議会 議事録」で検索してください。



内藤純夫議員が聞く！

寺坂棚田の買収地の整備について

問 寺坂棚田は、横瀬町を代表する景観として、観光面でも大きな役割を果たしている。棚田横の用地買収が整ったと聞いたが、この買収地にどのような整備を計画しているのか。

また、その整備内容は、耕作する担い手対策として効果的なものになっているのか伺う。

答 振興課長：買収地に、補助金を利用してのトイレ整備を計画し、今年度完成を予定しています。空いているところは駐車場にする予定です。

担い手対策ですが、トイレ・駐車場ができることにより、安心して耕作作業ができるようになると思います。またオーナー制度、棚田学校、都市交流などで多くの方に棚田を訪れていただくことが、今後の「耕作の担い手」の確保につながると思っています。

問 西武横瀬駅の旧操車場は、町内に残された貴重な未利用地であり、横瀬駅南側道路の建設により利用価値が高まると考えられるが、町は西武鉄道の意向を聞いているのか。また、町はどのような考えを持っているのか伺う。

副町長：正式ではありませんが、町内に「もし西武鉄道パーク等をつくる」としたら、町はどんな協力ができるか」との質問もいただいています。町の雇用対策や活性化のためにも、何か施設ができるように県の協力も仰ぎ、この機を逃さないように攻めていきたいと思えます。

答 副町長：正式ではありませんが、町内に「もし西武鉄道パーク等をつくる」としたら、町はどんな協力ができるか」との質問もいただいています。町の雇用対策や活性化のためにも、何か施設ができるように県の協力も仰ぎ、この機を逃さないように攻めていきたいと思えます。



大野伸恵議員が聞く！

観点は何？ 後期の基本計画

問 5年間の前期基本計画も今年度で終了となる。基本計画は町の指針として重要だが、計画にない町民グラウンド人工芝生花などの事業が突然出てきている。計画行政に疑問を感じているが、現在作成中の後期計画の観点は何か。住民アンケートはどう生かすか。

町長：目標に合致した事業は実施します。まち経営課長：目標を設定し、住民のニーズに添えています。

答 町長：目標に合致した事業は実施します。

答 まち経営課長：目標を設定し、住民のニーズに添えています。

問 計画実現には、毎年見直ししていく実施計画が重要で、公開が必要と思うが。

副町長：予算案作成にかかる資料なので非公開が原則です。

答 副町長：予算案作成にかかる資料なので非公開が原則です。

問 任期中、各種提案してきた。武甲山は登山客も多く、今年度は頂上トイレが使用できなかった。提案した登山口のトイレは。

副町長：武甲山は登山客も多く、今年度は頂上トイレが使用できなかった。提案した登山口のトイレは。

答 副町長：人里から離れており、管理が難しいと考えています。検討します。

問 男女共同参画の目標は15%で、20%に至らなかった。また土地利用計画に具体的なものはな

いとのことだったが、今度はどうか。

答 総務課長：今後も審議会等の女性委員登用に努めていきます。

答 まち経営課長：実施計画を踏まえ、施策の方針を考えます。

問 町民グラウンドの人工芝生花事業より身近な事業を望む。横小校庭の芝生化は基本計画

にあり、先ではないか。給食費も値上げになるが、学校環境・育児

環境を優先しないのか。

答 教育次長：学校の芝生化については、横瀬小学校第二校舎の建て替え時に考えたいと思います。給食費については、物価上昇

等により改定が承認されました。

一般質問 町政を問う



AED (Automated External Defibrillator) …自動体外式除細動器。突然の心停止で倒れた人を、その場で救ったための医療機器。電極のついたパッドから自動的に心臓の状態を判断し、電気ショックを与えることで、心臓の状態を正常に戻す機能があります。電源を入れると音声で使い方を指示してくれます。

問 軽度のうちに気づき、家族や地域でサポートする対応が大切と思うが、対策はいかがか。

答 健康づくり課長…現在受講された方は118名、講師になれる方が3名います。今後も養成講座は実施していきます。

問 認知症対策について、サポーター養成の考えは。

答 健康づくり課長…人のいる場所については考えてみます。

問 緊急避難場所掲示板に「AEDあり」のステッカーを張ってはいかがか。

答 健康づくり課長…学校等、町の施設に設置し、職員研修を年1回、今年は町民対象の講習も検討中です。

問 AEDの普及推進がされているが、使い方のさらなる講習会等、実施の考えは。

答 健康づくり課長…75歳以上の方々への訪問支援を実施している中で、配慮していきます。

問 保育所・児童館・小中学校でのクールスクールづくりについて、はだしで歩くコンクリート部分の熱を下げる対応は、どのようにされているか。

答 保育所長兼児童館長…保育所・児童館でのプール使用時は、敷物を使用して対応しています。保育所のテラスは、ゴム製のマットを敷いて対応をしています。児童館については今後検討していきたいと思っています。

問 教育次長…小学校のプールは本年の改修時に熱よけ対策をしました。中学校は使用時間も短いので打ち水等で対応中です。今後、改修時に検討していきます。

答 教育次長…小学校のプールは本年の改修時に熱よけ対策をしました。中学校は使用時間も短いので打ち水等で対応中です。今後、改修時に検討していきます。



わかばやしすみこ
若林スミ子議員が聞く！

自動体外式除細動器

AEDの普及推進、町の考えを問う



とみたよしなり
富田能成議員が聞く！

総合振興計画策定の考え方は？

問 新たな総合振興計画策定に当たっての考え方、方向性について伺う。

今期から第5次後期の総合振興計画の策定準備作業が始まったが、この計画は、町の今後の指針となる大変重要な計画。横瀬町が持続可能な町であり続けるために、現在の最大の脅威は人口減少で、このままいくと、この先わずか10～30年程度の間の人口減少で、横瀬町は今とは全く違う町になってしまう可能性が高い。

町が持続可能な町であり続けるために、人口減少を抑制する努力及び人口減少に耐え得る町をつくる努力が計画的かつ中長期的な取り組みとして不可欠と考える。人口減少の厳しい現実を正面から受けとめ、骨太の総合振興計画の策定をしていただきたいが、いかがか。

答 副町長…人口減少社会への対策としては、例えば子育て対策や雇用場の確保する対策に加えて、人口減少に耐え得る体制をつくるという観点から、協働化やいかにコンパクトなまちづくりをするか等も重要と認識しています。いろいろ検討して、対策室のようなものをつくるなど、職員の意識を一体化したほうがよいという判断になれば、そうしたこと

もやっていきたいと思っています。





知ってください！ 議会活動

会議だけじゃない！
「見て・聞いて・じかに感じる」
これも議員の仕事です。



武甲山 町造林



2014. 7.19(土) 議会議員：10名
視察先：横瀬字生川(53. 41%)

町の大切な財産である町造林(生川地区)を視察しました。大雪の被害も少なく、よく育成されています。

現地
視察

秩父地域3議員連盟総会



2014. 8.1(金) 議会議員：10名

総会の後、千葉県房総半島にある「いすみ鉄道(株)」の鳥塚亮社長より、同鉄道の取り組みと沿線地域の結びつきについてお話を聞きました。

講演会

東(奔)西走

登った！見た！学んだ！

人工芝グラウンド(飯能市)



2014. 7.31(木) 議会議員：9名
視察先：飯能市美杉台公園ほか

町民グラウンド人工芝生化に係る知識を得るため、飯能市のグラウンドを視察。工法や材料など貴重な情報をいただきました。

先進地
視察

小中一貫校(沼津市)



2014. 8.18(月) 議会議員：10名
視察先：静岡県沼津市立静浦小中一貫校

平成26年4月に開校した沼津市立静浦小中一貫校にて、小中一貫教育の目標や従来の6・3制の枠を超えた新たな試みについて視察しました。

先進地
視察

「私たちが編集しています！」 議会だより編集委員会

委員長	新井鼓次郎	
副委員長	若林スミ子	
委員	赤岩 森夫	
委員	若林想一郎	
委員	大野 伸恵	
委員	内藤 純夫	

(S・N)

この号が出るころには、大変寒くなっていると思いますが、お体に気をつけて、議会にも注目してください。

また、今回の補正予算で横瀬町の一般会計予算総額が39億5800万円となり、大変な大型予算となりました。議会としても、無駄な支出がないか目を光らせていると思います。

編集後記

今回の9月議会の主な議題は、25年度の決算認定と26年度の補正予算です。認定は、一柳監査委員提出の意見書が見やすく、分かりやすく、細部まで目が行き届いた、すばらしい意見書でした。おかげで議事進行がスムーズに進みました。

